

安曇野市地球温暖化防止実行計画に係る 平成24年度 取り組み結果

エネルギー種別	平成24年度			(基準)平成20年度		(参考)平成23年度	
	使用量	係数	CO2排出量 (kg) (×)	CO2排出量 (kg)	平成20 年度比 (÷)	CO2 (kg)	平成23 年度比 (÷)
電気	11,165,268Kwh	0.481	5,370,494	4,501,800	119.30%	4,967,039	108.12%
灯油	513,575ℓ	2.490	1,278,802	1,282,490	99.71%	1,381,325	92.58%
LPG	88,542m ³	6.000	531,250	500,151	106.22%	560,694	94.75%
重油	43,880ℓ	2.710	118,915	443,757	26.80%	326,989	36.37%
ガソリン	120,244ℓ	2.320	278,966	281,990	98.93%	278,017	100.34%
軽油	58,872ℓ	2.620	154,246	141,167	109.26%	141,629	108.91%
合計			7,732,673	7,151,355	108.13%	7,655,693	101.01%

総括

この安曇野市地球温暖化防止実行計画では、平成21年4月から市の事務・事業における温室効果ガス排出量を、基準年度の平成20年度に対して、平成25年度に6.1%以上の削減を目標として取り組みがされてきた。

その平成24年度の結果について、二酸化炭素(CO2)排出量を基準年度(平成20年度)と比較する。

CO2排出量は基準年度と比較して、約8%(581,318kg)増加という結果になっている。

その原因は、電気・LPG・軽油の使用量増加が挙げられる。

電気については、保育園・小中学校・給食センターなどの施設の新築・改築・改修による単純増が考えられる。

LPGについては、施設の新築による単純増と寒暖の影響、職員数の増加などが考えられる。

軽油については、それぞれ自動車の使用が増加したためと考えられる。

減少している重油については、穂高学校給食センターが北部給食センターに移転新築し、その使用が無くなったこと、その他の施設でも老朽化により使用量が減少している。

CO2の使用量の増減は、主に猛暑・厳冬など気候的な要因と施設の構造に拠るところが大きいと考えられるが、例えば「使用していない照明は消す」、「使用していないパソコンのモニタ電源は早めに切れる設定にする」、「業後にプリンタの電源は必ず切る」といった『無駄なエネルギーを減らす』という意識を持つだけで、かなりのCO2排出量の削減が期待できると考えられる。